

安心の医療を山武地域に

山武地域医療センター実現で医療過疎解消を

私たちの住む山武地域の医療水準を向上させ、いざというときでも安心して診てもらえる医療提供体制をつくらうと、「山武地域医療センター」の計画づくりが進んでいます。

山武地域で一般的な医療を完結させ、併せて24時間の救急医療体制を整え、医療過疎の状態を改善することが、医療センターの目的です。

入院患者の約2分の1が、また外来患者の約4分の1が、山武地域外の医療機関に出ています(図1参照)。一方、救急では、地域外への搬送が年々増加し、現在では約3分の1を占め、病院への到着に長い時間かかってしまう状況です(図2参照)。

山武地域医療センターは、公立病院の再編と中央病院の新設により機能分担を図り、人材や医療機器など医療資源を集中するとともに、医師の確保対策や経営の効率化を目指しています。

山武都市広域行政組合医療センター整備室
☎0661

図1 公立3病院と地域外の医療機関への受療割合

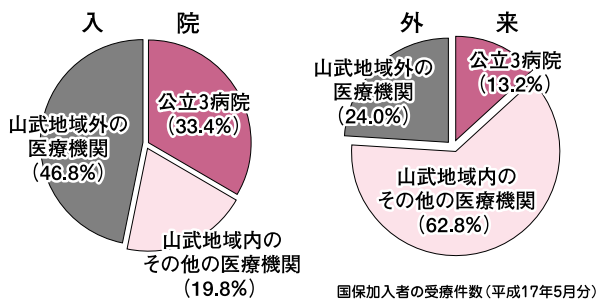
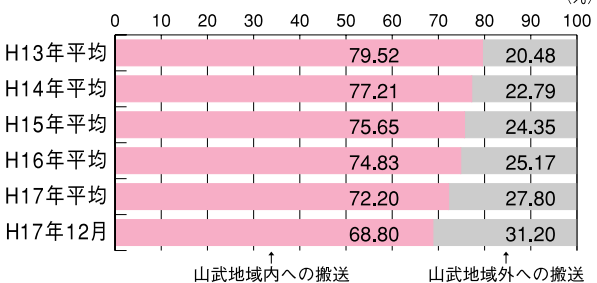


図2 山武地域の内外への救急搬送割合



シンポジウムでの質疑と回答

計画の意義や必要性を話し合おうと、2月18日、東金文化会館で山武地域医療センターシンポジウムが開催されました。主な質疑と回答は次のとおりです。

Q. 中央病院予定地が東金市内に決定された経緯は。

A. 4市町から提案された5カ所について、交通アクセス、インフラの整備状況、用地取得の容易性、土地の価格などを総合的に評価した結果をもち、市町村長の協議で考え方を集約し、平成17年8月3日開催の策定委員会で協議の結果、東金市丘山台の用地を予定地とすることとなりました。

Q. 収支は見合つか、また、県の支援と住民負担はどのくらいか。

A. 長期にわたり健全経営が可能となるように、PFIなどの民間活力を導入し、収支均衡を目指しています。また、県立東金病院の老朽化を契機とした事業であり、

県からは必要な支援を行うと回答を得ています。財政負担のより少ない事業手法の検討と、県の財政支援を求め、市町村負担が明確にされると考えます。

Q. 成東病院の現在の機能や規模が縮小される点について不安を感じる。

A. 現在の医療提供体制は、救急医療や小児医療など住民の望む医療が実現できないだけでなく、医師の確保が難しく医療資源も分散してしま

成東病院は支援病院として位置付けられますが、外来診療科は現行がほぼ維持されま

す。病床は、急性期を担う中央病院と機能分担するため、療養型(慢性期の疾病治療)に変更される計画です。しかし、救急や小児医療に心えられる中央病院ができること

で、山武地域全体では、医療提供体制が充実し、大きなメリットがあると考えます。

Q. 中央病院に医師が集まるのか。医師の確保策はあるのか。

A. 平成16年度から始まった新医師臨床研修制度により、都市部や医療機能が充実した病院への選択志向が強まり、相対的に地方で医師が不足しています。これは全国的な傾向です。

現状のまま、何も講じなければ、解決にはつながりませ

ん。中央病院を整備し、支援病院との連携で、急性期から慢性期まで幅広い医療提供体制をつくり、さまざまな臨床経験をできるとともに、医療機器を整備し、医師の技向上ができる環境をつくり、医師にとって魅力ある病院とすることが重要です。併せて、複数の医師供給ルートを確認するなどが考えられます。

Q. われわれが今やれる事は何か。医療側にお願いはかりしているだけでなく、医療を受ける側にもやる事があると思う。今を改善し、次につなげるために何が必要か教えてください。

A. 限られた医療資源を有効に利用し、国民の医療費負担を軽減するためには、まず、健康な生活を送ることが重要です。がんや心疾患、脳血管疾患は、自ら生活習慣を見直すことでその罹患率を減らすことのできる病気です。

また、病気の早期発見のため、健康診断を受診することが大切です。

万一、病気になるときは、まず、かかりつけ医に受診されることをお勧めします。

すべての質疑回答は、各市町の行政情報コーナーまたは保健福祉担当課、東金病院、大網病院、成東病院にも備えてあります

表彰

地援憲夫氏・金坂利雄氏が千葉県消防大会で各章受章

消防職員および消防団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、3月23日、千葉の森公園芸術文化ホールで千葉県消防大会が実施されました。本町からも2名の方々が受章されました。

日本消防協会会長表彰功績章 地援憲夫氏(金谷郷) 千葉県消防協会会長表彰功績章 金坂利雄氏(みずほ台)

林重氏に感謝状

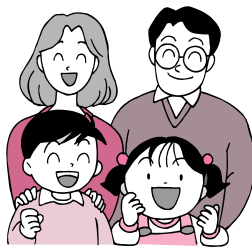
多年にわたる交通事故防止活動に対する取り組みが認められ、3月3日に東金警察署長から林重氏(池田)に感謝状が贈呈されました。

保健師だより

お子さんをしっかり抱きしめていますか？

毎日育児と家事に追われ、自分の時間が持てず、うんざり。そんなお母さんも多いことでしょう。「どうしてこんなに泣くのかしら?」「全然言うことを聞いてくれない」悩みはいろいろですね。「子どもが泣くのは当たり前」、「言うことを聞かないのは自我の芽生え」とわかっていても毎日となると...。そんなお子さんをしっかり抱きしめていますか? 「もう赤ちゃんじゃないから」と言う方は、ぜひ抱っこをしてあげてください。そして「おもちゃで遊びたかったね」「が欲しかったんだね」というようにお子さんの気持ちを共感してあげましょう。お子さんはお母さんに受け入れ

てもらえたことで、自分の思い通りにいかなくても徐々に落ち着いてくるでしょう。4月から入園・入学をしたお子さんは新しい環境で緊張の連続です。自宅に帰ったら「1日よく頑張ったね」の一言と一緒にしっかり抱きしめてあげてください。恥ずかしがるかもしれませんが、本当はとっても安心していていると思えますよ。



健康福祉課健康指導係 ☎(72)8321

大網病院だより

~ 外来担当医師を紹介(平成18年4月1日から) ~

科目	曜日	月	火	水	木	金
内科		高梨	高梨	高梨	橋本	橋本
		橋本	土屋	土屋	土屋	服部
		鈴木	千葉大医師(神経内科)	服部	鈴木	児玉
		千葉大医師(糖尿病)	-	千葉大医師(血液内科)	千葉大医師(呼吸器内科)	-
外科		志村	板橋	志村	古谷	中村
		板橋	中村	-	-	-
整形外科		豊田	宗藤	豊田(1・3・5週) 宗藤(2・4週)	宗藤	豊田
		豊田	宗藤	豊田(1・3・5週) 宗藤(2・4週)	宗藤	豊田
リハビリテーション科		豊田	宗藤	宗藤	宗藤	豊田
消化器科		志村	高梨・土屋	古谷	鈴木	志村
眼科		千葉大医師	-	千葉大医師	-	千葉大医師
耳鼻咽喉科		-	-	千葉大医師	-	-
皮膚科		-	千葉大医師	-	田辺(第1週のみ)	東邦大医師

注) 受付は11時30分までです(眼科・耳鼻咽喉科を除く)。また、内科・外科・整形外科は緊急の場合、午後・夜間・休日等の時間外でも受付しますが、曜日により担当科が異なりますので、必ずお問い合わせください。

お知らせ
長生・山武地域の医療状況等により、外来・入院ともに患者様の急増に直面しています。特に、外来では大変込み合い、待ち時間も長くなりご迷惑をおかけしています。患者様には、救急や緊急の場合を除き、最寄りの診療所・医院での受診をお願いします。

大網病院 ☎(72)1121